

井上　佳郎 議員

高島市内の並木道の保全管理について

問 マキノメタセコイア並木について、抜本的な対策を考えるべきと思うが、今後どのように取り組まれるのか

答 樹木医や団体と連携しながら、支援をしていきたいと考えています

問 桜の保全活動を行うボランティア団体に、どのような支援や連携を行っているのか。

答 市民生活部長

市内各地の桜は地域住民をはじめとする皆様のご理解とご協力によって守られています。ボランティア団体に補助金を交付するなど地域の皆様と連携し、桜の適切な保全管理に努めています。

問 今後の松並木の保全についてどう取り組むのか。

答 農林水産部長

予防対策に努めるとともに、引き続き被害状況を把握し、まん延防止、被害拡大防止に向けて、松くい虫被害と推測される枯損木の早期発見と迅速で適切な処理により、湖岸の松林の保全に向けた効果的な方策を検討していきたいと考えています。

問 専門家である樹木医と相談して中長期的な対策を講じる必要があると考えるがどうか。

答 農林水産部長

緑の募金の還元事業として、樹木医を派遣していただく支援制度が今年度から創設をされました。

今年度については、新旭地域の湖岸道路沿いで腐朽の懸念がある桜に、樹木医の派遣制度を活用したいと考えています。

問 メタセコイア並木の保全活動を行われている団体に、どのような支援や連携をされているのか。

答 商工観光部長

高島市魅力ある地域づくり補助金を、メタセコイア並木を守り育てる会に交付し、支援を行っています。

樹木の寿命は、生育環境によって変わると思われます。同団体をはじめ関係者により引き続き適正な管理を行っていくことが必要であると考えます。

問 マキノメタセコイア並木について、抜本的な対策を考えるべきと思うが、今後どのように取り組まれるのか。

答 市長

樹木医やマキノのメタセコイア並木を守り育てる会としっかりと連携しながら、樹木の観察ということがしっかりと行われるように支援をしていきたいと考えています。

